

物価高騰対策、センター病院などで緊急要望

日本共産党上越地区委員会、市議団が市長に



日本共産党上越地区委員会及び日本共産党上越市議団は15日、中川市長に対して「2025年度予算及び今年度補正予算の編成並びに重要な政治行動に関する要望書」を提出しました。

同要望書は、「(異常な物価高騰などにより)市民の暮らしの厳しさは日を追うごとに増し、自治体が今すぐに何らかの手立てを講じないことには暮らしそのものが破綻する市民が出かねない状況となって」いるとして、新年度予算、今年度の補正予算などに盛り込んでいくべき市民の願いをまとめたものです。

要望の大きな柱は、①危険な原発、自然災害、各種感染症など、あらゆる脅威から市民の安全を確実に守るための取組、②市民の命と健康の守り手である医療機関・施設を確実に守り充実させるための取組、③物価高騰と国の悪政から市民を守る取組の3つです。

「上越地域医療センター病院の改築

先送りの方針が先月示され、私も関係者もみんな驚いた。当初の予定通り基本設計に着手し、いつときも早く改築するよう予算に盛り込んでほしい。ガソリンをはじめとする物価高は異常だ。要援護世帯などはもちろんのこと多くの市民が困っている。こういう時こそ市政の出番だ。柏崎刈羽原発をめぐっては岸田前政権がこの原発の再稼働を狙って閣議を開くなどをした。現政権もこれを踏襲している。また柏崎市長が盛んに再稼働を訴えるなど極めて前のめりだ。避難道路が整備されるだけで解決する問題ではない。UPZ(原発から30キロ圏内)で線引きし、避難方法を考える方法も見直しを迫られている。再稼働に前向きな動きに待ったをかける行動をしてほしい」などと要請しました。同席した上野市議は、原発再稼働をめぐる県民投票条例直接請求で署名がたくさん集まったことを紹介し、市民に寄り添うよう求めました。平良木市議はセンター病院改築は待ったなしである状況などを訴えました。

これに対して中川市長は、「センター病院は財政事情から(方針変更などを)お示しした」「原発は我々も避難道路だけ整備できればいいとは思っていない。関係市町村で協議している」などと答えるにとどまりました。

今月31日には臨時議会も予定されています。すでに提出議案は準備されていると思いますが、今回の要望内容も検討し、見直すべきは見直していただきたいものです。



【ヤツデ】ウコギ科の常緑低木。漢字で「八手」と書きます。葉は大型で掌状に裂けています。晩秋から白い花を咲かせています。いま、植物の花と言えはこの花くらいなものでしょう。庭木としてあちこちに咲いています。花言葉は「信頼」「分別」「健康」「親しみ」など。写真は1月9日、柿崎区上下浜にて撮りました。

2月9日に「新春のつどい」

今年も「新春のつどい」を開催します。集いの第一部は、私と馬場県議の議会報告です。当面する市政や県政の課題と展望などについて語ります。第二部はお楽しみ会です。歌や踊りなどを楽しんでいただければと思っています。お酒を飲まれる方は車を運転しての参加はご遠慮ください。参加ご希望の方は私か最寄りの赤旗配達員までお知らせください。

日時：2月9日の13:30~15:30
場所：吉川多目的集会場
会費：1000円
(当日いただきます)
お酒などの飲み物、漬物などの持ち込み歓迎です



13日は上越市消防団の出初式、パレードなどが行われました。出初式では団長や市長などの挨拶があり、永年勤続などの表彰が行われました。パレードは謙信公大橋からカニ池交差点までの各種消防車が次々と通り抜けていくので子どもたちに人気です。これが消防意識の向上につながってくれるといいですね。イラストはパレードの様子です。

はしづめ法一の活動レポート

No.2188 2025.1.19
発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3627
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp
URL <https://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見である記」はこちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第八三五回 正月の片付け仕事

年末、連れ合いから言われました。「正月のうちに机の上や周り、片づけてよ」と。ここ数年、ずつと気にはなっていたのですが、忙しいことを理由にそのままにしています。

元日の午前、地元町内会の新年会でお酒を飲んだので、車ではどこにも出れない状態となりました。そこで、思い切って片付け仕事をすることにしました。

まずは机の中です。ここには大事な手紙、思い出の品物などが入りきれなくなっていました。これらを選別し、どうしても残しておきたいものだけを残すことにしました。これが簡単ではありませんでした。

例えば手紙、見つけると、つい読んでしまいます。読むと処分できなくなり、特に何通もくたさった人の場合がそうです。高田在住の古澤かをるさんがその代表です。エッセイ集をお届けした時のお礼の手紙、吉川町時代に赴任された旧川谷小学校の思い出をめぐる手紙などいずれも達筆で、心のこもったものばかり……。結局、一通も処分できませんでした。

写真もたくさんありました。正直言って、残しておいても私以外の誰かが見る可能性はゼロに近いものです。私がいなくなれば、それで終わりのものが圧倒的です。でも、いったん見ってしまうと懐かしくなって、簡単には処分できないのです。二十数年前、旧源小学校の児童が私の牛舎へ見学に来たことがありました。そのときの牛舎案内、外での説明などの写真には知っている児童の顔が何人もいました。それでどうしたか。そのときの記録として二枚ほど残すことにしました。あとは思い切ってゴミ箱に入れました。

写真を整理していたら、しばらく行方不明になっていたものも出てきました。連れ合いと結婚する前に親不知海岸で撮った写真もその一つです。縦横それぞれ五センチほど

の大きさで、長く運転免許証ケースに入れて持ち歩いていたのですが、数年前に見つけたものの、またまた行方不明になっていました。小さな写真なのでちょっとしたものに挟み込んだだけでもわからなくなりません。久しぶりに再発見し、改めて写真を見ると、じつに若い。五十年前も前に撮ったものですから当たり前です。

眼鏡も出てきました。私は高校時代から視力を落とし、乱視も入っています。当時から眼鏡をかけるようになりました。それから五十数年経ちました。うっかり踏みつぶしたものも含め、これまで少なくとも五回は眼鏡を替えています。机の中から、以前使っていた眼鏡が二個も出てきました。そのうちの一個を試しかけてみてびっくりしました。周りの景色がこれまでにない鮮明に見えたのです。視力がこの眼鏡を使っていたころと偶然、同じになったのかも知れません。

元日の片付け仕事では、机の中のものは一割くらい減っただけでしたが、机の上や周りはいよいよ片付きました。不要な書類は紙ひもでしばって七個くらいになりました。この書類の山を見た連れ合いが「お父さんて集中力あるね」とほめてくれました。聞かえないふりをしていましたが、ほめられれば、中途半端で終わらせることはできません。結局、翌日も片付け作業を続けることになりました。

二日間の片付け仕事を自己評価すれば、六〇点というところでしょうか。不要なもの整理はまだ六〇%ぐらいですから。ただ、今回の作業で何がどこにあるかを確認できました。それがわかっただけでも気分は上々です。片付けを進めるうえで最大の課題は四〇年間続いた活動レポートです。この宝の山を整理するにはデータの電子化が不可欠です。体が動くうちにその作業をやりたいと思います。

市内各地でサイの神

イラストは吉川区土居地内のサイの神の様子です。11日取材。



上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	1月8日(水)	1月15日(水)
上越消防署	0.053	0.053
上越南消防署	0.053	0.050
新井消防署	0.050	0.050
頸北消防署	0.057	0.053
頸南消防署	0.067	0.067
東頸消防署	0.050	0.047
名立分遣所	0.060	0.060
高士分遣所	0.057	0.057

初めて「音とダンスフェスタ」へ



ライオン像のある館で13日に開催された「音とダンスフェスタ」、初めて参加してきました。出演者も観客も楽しそうでしたね。イラストは杉みき子さん作詞の「朝市」を歌うコスモフィッシュの皆さんです。素敵な歌でした。

春よ来い

第八三五回 正月の片付け仕事

年末、連れ合いから言われました。「正月のうちに机の上や周り、片づけてよ」と。ここ数年、ずっと気にはなっていたのですが、忙しいことを理由にそのままにしています。

元日の午前、地元町内会の新年会でお酒を飲んだので、車ではどこにも出れない状態となりました。そこで、思い切って片付け仕事をすることにしました。

まずは机の中です。ここには大事な手紙、思い出の品物などが入りきれなくなっていました。これらを選別し、どうしても残しておきたいものだけを残すことにしました。これが簡単ではありませんでした。

例えば手紙、見つけると、つい読んでしまいます。読むと処分できなくなります。特に何通もくださった人の場合がそうです。高田在住の古澤かをるさんがその代表です。エッセイ集をお届けした時のお礼の手紙、吉川町時代に赴任された旧川谷小学校の思い出をめぐる手紙などいずれも達筆で、心のこもったものばかり……。結局、一通も処分できませんでした。

写真もたくさんありました。正直言って、残しておいても私以外の誰かが見る可能性はゼロに近いものです。私がいなくなれば、それで終わりのものが圧倒的です。でも、いったん見ってしまうと懐かしくなつて、簡単には処分できないのです。二十数年前、旧源小学校の児童が私の牛舎へ見学に来たことがありました。そのときの牛舎案内、外での説明などの写真には知っている児童の顔が何人もいました。それでどうしたか。そのときの記録として二枚ほど残すことにしました。あとは思い切ってゴミ箱に入れました。

写真を整理していたら、しばらく行方不明になっていたものも出てきました。連れ合いと結婚する前に親不知海岸で撮った写真もその一つです。縦横それぞれ五センチほど

の大きさで、長く運転免許証ケースに入れて持ち歩いていたのですが、数年前に見つけたものの、またまた行方不明になっていました。小さな写真なのでちょっとしたものに挟み込んだだけでもわからなくなりました。久しぶりに再発見し、改めて写真を見ると、じつに若い。五十年前も前に撮ったものですから当たり前です。

眼鏡も出てきました。私は高校時代から視力を落とし、乱視も入っています。当時から眼鏡をかけるようになりました。それから五十数年経ちました。うっかり踏みつぶしたものも含め、これまで少なくとも五回は眼鏡を替えています。机の中から、以前使っていた眼鏡が二個も出てきました。そのうちの一個を試しかけてみてびっくりしました。周りの景色がこれまでになく鮮明に見えたのです。視力がこの眼鏡を使っていたころと偶然、同じになったのかも知れません。

元日の片付け仕事では、机の中のものは一割くらい減っただけでしたが、机の上や周りはいくぶん片付きました。不要な書類は紙ひもでしばって七個くらいになりました。この書類の山を見た連れ合いが「お父さんで集中力あるね」とほめてくれました。聞かえないふりをしていましたが、ほめられれば、中途半端で終わらせることはできません。結局、翌日も片付け作業を続けることになりました。

二日間の片付け仕事を自己評価すれば、六〇点というところでしょうか。不要なもの整理はまだ六〇%ぐらいですから。ただ、今回の作業で何がどこにあるかを確認できました。それがわかっただけでも気分は上々です。片付けを進めるうえで最大の課題は四〇年間続いた活動レポートです。この宝の山を整理するにはデータの電子化が不可欠です。体が動くうちにその作業をやりたいと思います。

市内各地でサイの神

イラストは吉川区土居地内のサイの神の様子です。11日取材。



上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのことです。

	1月8日(水)	1月15日(水)
上越消防署	0.053	0.053
上越南消防署	0.053	0.050
新井消防署	0.050	0.050
頸北消防署	0.057	0.053
頸南消防署	0.067	0.067
東頸消防署	0.050	0.047
名立分遣所	0.060	0.060
高士分遣所	0.057	0.057

「かちやの歌」、YouTubeにアップしました

コミュニティバンド、「ピアス」の皆さんから協力していただき、「かちやの歌」をYouTube動画に載せることができました。動画作成にあたっては、演奏を「ピアス」のみなさんが



やってくださり、編集はピアスのmacoさんが担当、私はイラストを描きました。ぜひご覧ください。



上のQRコードにスマホのカメラを向けると、「かちやの歌」の動画につながります。極めて簡単です。お試しください。